

会 議 議 事 録

会 議 名 称	令和7年度第1回上里町総合教育会議
開 催 日 時	令和7年10月28日（火） 午前9時00分～午前10時00分
開 催 場 所	上里町役場3階 教育委員会・行政委員会室
出席者	構成員：山下町長、齊藤教育長、 高階教育委員、池田教育委員、岡村教育委員、梅林教育委員 関係課：教育総務課長、教育指導課長、生涯学習課長、総合政策課長 事務局：総合政策課
欠席者	なし
傍聴者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 上里町教育大綱に関する実施状況について 4 意見交換 人権教育・道徳教育について 5 閉会
配 布 資 料	○会議次第 ○上里町教育大綱 【令和4年4月】 ○上里町総合教育会議設置及び運営に関する要綱 ○人権教育・道徳教育について

発言者	発言内容
町 長 教 育 長 教育総務課長 教育指導課長 生涯学習課長 岡村教育委員 教育指導課長 教育総務課長	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 上里町教育大綱に関する実施状況の報告 (各担当課が上里町教育大綱に関する事業の実施状況について説明) 三点質問させていただく。 ① 日本語指導が必要な児童は、何か国の国籍の子がいるか。また、保護者への通知は各言語で伝えているのか。 ② 全体的な学力低下が見受けられる中、働き方改革は指導力向上との両立を図られているのか。 ③ 教育施設及び体育館等が避難所となる場合、校長を中心とした教職員はどのような動きになるのか。 ① 国籍としては6, 7以上とかなり多く、各児童には翻訳機を使いながら対応している。その他、通訳を東小に2名、上里中に1名配置しており、ポルトガル語の通訳が主となっている。また、保護者への通知については全て翻訳対応しており、英語圏の通訳・翻訳に関してはALTの協力を得ている。 ② スクールサポートスタッフ計7名＋会計年度任用職員を活用することで、教職員の負担を減らしながらも指導力向上を図っている。 ③ 有事の際における避難所の運営については町職員が主導で行うため、教職員が実際に動くことは原則としてないものの、日常的な教職員への防災対応に係る指導として、防災器具庫の周知や防災対応マニュアルの完備、年3～5回の避難訓練等を実施している。 教育指導課長の③回答に補足させていただく。 災害対策本部が小中学校に避難所を設置した場合、町から避難所へ救護班を派遣するため、先ほど教育指導課長がおっしゃったように教職員に避難

	所運営をしていただくことはないが、避難が長期に渡る場合においては、教育の継続を図るため、教育委員会や学校長にご協力いただき、教育体制に滞りのないよう柔軟な対応をお願いすることになると想定される。
	4 意見交換 人権教育・道徳教育について (教育指導課より上里町の人権教育・道徳教育の現状について説明)
岡村教育委員	私は校長職を経験しており、今日まで美術を中心に活動してきた。在校先の中学校では学校立て直しの一員として活動し、私の在校時において不登校生徒はゼロだった。教育において見える化は重要な課題だが、美術は子どもたちの心の変容を可視化できる学習であると考えている。不登校の子どもたちの中には絵を描くことを好きな子が多く、作品を見せることで自己肯定感を養う経験を積むこともできる。
高階教育委員	私も校長経験者であるが、在校時には学校へ様々な方を呼び、子どもたちの前で話をしてもらおう場を設けていた。私自身も毎週1回全校生徒の前で話をし、時には子どもたちに質問を投げかけ、回答してもらおうような工夫をしていた。「人権」というものは、全面に押し出してしまうと子どもたちが身構えてしまう傾向にある。色々な立場の人から色々な角度の話を聞くことで、子どもたちは様々なことを吸収し、それがゆくゆくは人権教育につながると考えている。人を呼ぶということは費用がかかるため、予算上難しいこともあるかもしれないが。
池田教育委員	私はサッカーの指導者をしており、サッカーを通してでしか学生に接したことはないが、最近の子どもたちを見ていると自己肯定感の低い子が増えている気がする。昔とは違い、現代は怒ることに対して非常に気をつかう時代になっており、その上で子どもたちと接する時にどれだけ本音で向き合えるかということが、今後の子どもたちの人権意識というものを育んでいくために大切なことだと感じている。
議長（町長）	池田教育委員は日本の女子サッカーを率いていたこともあり、上下のコミュニケーションやチームワークという部分を良く理解されている。私も町長に就任時、職員に対して「チーム上里」で取り組みたいという願いをし、現在まで何度も伝えてきている。チームワークを学ぶということは、人権意識を育むことに結びついていると考えている。また、私は昔ラグビーをやっ

	ており、スクラムを組む際に失敗してしまうと指導者から厳しく指導を受けたことがある。その当時は辛いこともあったが、そういった経験が自分自身をより奮い立たせることにつながっていた。池田教育委員と同様、現代においては子どもたちに対していかに真剣に向き合っていくかということが、人権教育に大切な部分だと認識している。
梅林教育委員	私が子どもの頃は人権教育という言葉自体がなかった。私の子どもが中学生になり、小学生の頃から人権教育というものを受けていると聞いた。授業参観でも道徳の授業をやっており、その際に子どもたちから面白い意見が多く出てきていたので、そういった意見を学校だよりのようなものにまとめ、地域の人にこんな意見があったというアウトプットができると良いと思う。また、上里町では人権講演会を開催していることから、当日会場に来られなかった方に対し、講演内容をまとめたものを広報等で周知することで、町民全体における「人権」理解を深めることにもつながると思う。
議長（町長）	町としても、今後の子どもたちに対する人権教育・道徳教育の重要性を改めて認識し、上里町教育大綱に基づいてしっかりと取り組んでいきたいと思う。
事務局	5 閉会

署名欄

町 長	山下 博一
教育委員会 教 育 長	齊 藤 雅 男